鎌ケ谷市　事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要施策対象	うち多額の経費対象	①事務事業の概要 ②課題（目的に対する現状など）	25年度決算額［千円］	26年度決算額［千円］	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額［千円］
1	一般	8	4	1	322利便性の高い公共交通体系の充実	コミュニティバス運行助成事業	都市計画課	○	○	①市内4ルート（東線、東線2、南線、西線）に分け月曜日から金曜日まで、1日4便から6便の運行経費から運賃収入を引いた金額に対する予算の範囲内での補助金の支出。 ②土、日の運行、定時性の確保、運賃の改正（消費税分）および、バスの耐用年数がきており、買い替えが必要である。	19,976	20,149	6精査・検証	①現在、コスト的には低いと考えるが、高齢化社会の対応として、地域活動や生涯学習などの参加からコミュニティバスの運行は必要不可欠である。 ②コミュニティバス運営に関する検討委員会を設置し、土、日曜日の運行、1日の運行本数の増便、定時性の確保、路線の拡張等の利便性の向上について検討を行う。	21,023
2	一般	8	4	1	322利便性の高い公共交通体系の充実	北総鉄道運行助成事業	都市計画課	○	○	①北総線の運賃を値下げすることを目的として、値下げによる減収分を鉄道事業者、千葉県及び関係6市で平成22年度から平成26年度の5年間補てんする。 ②平成27年2月10日以降、北総鉄道㈱の負担で、普通運賃2.7%、通勤定期運賃0.6%、通学定期運賃25%の値下げを平成36年度まで維持することとなっているが、現行運賃の維持または、更なる値下げが課題。	9,000	7,767	1終了	①県・関係6市等で締結した合意書により、平成22年度から平成26年度までの5年間で終了したが、北総鉄道㈱がこれまで運賃値下げしていた負担を継続し、平成27年2月10日以降については、左記②の値下げ率となっている。 ②県・関係6市及び北総鉄道㈱は、これまで運賃値下げの合意書に基づき、北総線沿線地域活性化協議会を設置していたが、北総線利用者を増加させるため、引き続き北総地域の発展に相互に連携し、協力する必要がある。	0